

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第37号 平成21年11月16日

1, 2, 3, 4 番足引っ張る？

投手戦を制せず、達脇 1 球に泣く・・・



11 / 15 (日) 秋季区民大会 2 回戦が、大黒埠頭公園野球場にて行われた。昨年までの大黒なら間違いなく、順延であったであろうが、今年は土の入れ替えが頂を奏したか、若干の重さがあったものの、無事大会は開催された。今日も我がチームは後攻、先発は達脇、夕方に差し掛かる時間から、プレイボールの幕が上がった。先頭打者を 2 球で、投ゴロに打取り、出だしは快調、続く後続も凡打に切り、上々な立ち上がりであった。問題は、我が打撃陣、最近湿りがちな打線が今日は、爆発するか？ はたまた沈黙か？ 相手投手を見てみると、久々の速球投手且つ若い、これは、投手戦の様相も予感させた。そして、終わってみれば、今日の打撃陣も遅い梅雨真っ只中の状態を抜け出せなかった。点が動いたのは、2 回表、先頭を死球で出し、その後 2 盗、そして、3 盗、続く打者には、四球と、初回と違い自身でピンチを背負ってしまった。続く打者の時に、1 塁ランナーに 2 盗を許し、無死 2、3 塁、続く打者に中に打球を運ばれ、犠飛で先制を許した。中継プレーのまずさの間に、2 塁ランナーに 3 塁進塁を許し、続く打者に対しての WP の間に、3 塁ランナーがホームに帰り、無安打で 2 点を献上した。3 回の裏は、首位打者山田が、粘って右前安を放ち、続く打者の時に果敢に 2 盗を決め、スコアリングポジションに！この時の山田の走塁からは、気迫がベンチまで漲ってきた。続く打者への WP 間に山田は 3 塁へ、梶原の 3 塁ゴロの間に、山田が生還し、1 点を返した。ムードは、逆転のムードであったが、とにかく、1 から 3 番までで 5 三振、ましてや 4 番までがノーヒットでは、次回、下位と上位を入れ替えた方が良いのでは？ と思ってしまうくらい、上位打線。そんなゲームを振り返ってみると、安打も内が上、奪三振も内が上、なのに敗戦したのは、まさに 2 回に悪魔が舞い降りた感のあるゲームであった。3 回には、三者連続三振を奪取する好投の達脇、2 回に何が起こったのかは、本人のみぞ知る由が無い。「僕はメンタルが弱いですから」と言い放つ彼であったが、バスのエンジン同様、心にはかなり熱いものが残ってしまったはず、この借りは、次回の区民大会で打線爆発と共に返したいものである。それにしても梶の采配は良かったね。